



掘ったぞ 採ったぞ 重たいぞ！

校長 大谷 京司

家の近くのスーパーマーケットでタケノコが売り出されていたのを見て、学校の竹林を散策してみると…でっかいタケノコが顔を出していました。タケノコとしては大きくなりすぎて食用には不向きな感はありましたが、これからぐんぐん天に向かって成長しようとする姿を見て、始業式、入学式を数日後に控えていたこともあり、子どもの成長と重ねとても感動しました。持ち上げてみてさらに

びっくり、ずっしりと重く、成長した竹は中が空洞ですが、タケノコはびっしりと中身が詰まっていることを実感しました。

また、竹林の下の方に向かう斜面には一面にシャガが今が見頃と咲き誇っていました。シャガの花言葉には、剣先のような鋭い葉の形や日陰でも花を咲かせる様子から「反抗」、根茎を横にどんどん伸ばして多数の花を咲かせることから「友人が多い」という意味が込められているそうです。

開校当初から美しい花をたくさん咲かせていたシャガの、日陰でもたくましく育ち、友だちをどんどん増やしていくという花言葉の意味を知り、本校にぴったりの花だなと改めて思いました。

今年度も、ぐんぐんたくましく伸びていく子どもたちの成長に寄り添い、一人ひとりの「希望」をかなえていけるよう職員一丸となって努力してまいりますので、よろしく願いいたします。



令和5年度の教育活動に向けて

昨年度の学校評価や従来からの課題解決に向けて、次の4点について、重点的に改善を図り指導を充実していきたいと考えています。

- ① 七沢の豊かな自然を生かす教育活動を進めるために、七沢幼稚園で今年度より実施する「森の探検」に初等学校児童も一部可能な範囲で参加する他、授業においても自然を生かした授業展開や自然に触れ合う校外学習なども今後増やしていきたいと思えます。
- ② 幼初の連携について、4月3日にも幼稚園の先生方と合同の研修会・話し合いを持ちましたが、連携行事や初等学校の授業への参加など、ねらいを明確にして実施していきます。
- ③ あいさつは自分を表現し相手を尊重する第一歩と捉え、自分から進んで気持ちの良い挨拶のできる気運を醸成します。
- ④ 学習・生活支援員を平日にも常駐する環境を整え、先日、研修会も実施しました。授業や学校生活の支援を充実させます。



幼初合同研修会

大きく飛び立った 4 人の卒業生

3月18日(土)、あいにくの雨になってしまいましたが、第11回卒業証書授与式を実施しました。当日は、1名が発熱による体調不良で欠席となってしまいましたが、体調が回復した3月22日(水)に、その卒業生を対象とした卒業式を改めて全校で行いました。

第1部の最後は、卒業生一人ひとりによる「卒業研究発表」です。将来なりたい職業について、なぜ、そのような職業につきたいのか、そのためにはどのような能力が必要で、今の自分に必要なことは何なのかなどを分析していました。その上で、中学校では何に力を入れて、その後の進路をどのようにとるべきかまでしっかりと発表していた姿は、本当に頼もしかったです。



第2部では、児童会が中心となって、「大切にしよう」というテーマ学習の一環として、縦割りグループからのプレゼント(勇者への冠、思い出を留める写真立てと筆箱)の贈呈と在校生全員からのお祝いの歌が披露されました。それに対して、卒業生は和太鼓のパフォーマンスを交えて、最後に「希望のこぼ」を

一人ずつ述べました。感極まって涙ぐむ場面も含め、会場は終始温かい空気に包まれ、とても感動的な素晴らしい卒業式となりました。

最後は、在校生と教職員、来賓が列を作り、卒業生は一人ずつ握手をして立派に学校を巣立っていきました。これからの卒業生のますますの活躍に大いに期待したいと思います。



エスポワールから学校に贈呈していただいた演台と譜面台は始業式・入学式から、掛け時計はさっそく高学年棟に取り付け、大切に使用させていただいております。ありがとうございました。

